

心臓財団 季報

No.172

・財団法人日本心臓財団・

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル835区・A

○ Tel 03-3201-0810 ○ Fax 03-3213-3920 ○ e-mail: info@jhf.or.jp ○ http://www.jhf.or.jp/

2003

「動脈硬化Update」 研究助成対象者決定

「動脈硬化」は、脳卒中、心臓疾患、糖尿病等と関連が深く、高齢化が進む今日、これらの予防、治療はますます重要となり、最近はその研究領域も分子遺伝学、代謝内分泌、疫学などと多岐にわたっております。そこで当財団では、動脈硬化研究の一層の進展と少壮研究者の育成に努めるうえで、このたび動脈硬化領域における研究を行う40歳未満の少壮研究者に対して第1回研究助成を実施しました。

本研究助成に63題の応募があり、大内尉義東京大学加齢医学教授を委員長とする選考委員6名による書類審査が行われ、3題が選考されました。このほかに奨励賞3題が選ばれております。6月14日、東京プリンスホテルにて開催の研究発表会で選考された3名による発表をもとに最優秀賞1題と優秀賞2題が次のとおり決定しました。

第1回日本心臓財団「動脈硬化Update」研究助成対象者

(順不同、敬称略、金額単位：万円)

番号	氏名	所属	研究課題	金額
1	林田 和隆 (33歳)	京都大学大学院医学研究科 加齢医学講座	可溶性Lectin-like oxidized LDL receptor-1 (soluble LOX-1) の臨床的意義について	200
2	浅場 浩 (29歳)	東京大学先端科学技術センター システム生物医学ラボラトリー内分泌代謝システム分野	Wnt/LRP5シグナルによる糖・脂質代謝、インスリン分泌および血管代謝調節機構	100
3	野口 輝夫 (38歳)	国立循環器病センター 心臓血管内科	頸動脈不安定プラーク同定のための定量的診断方法の確立 - 超音波後方散乱信号解析と核磁気共鳴画像による多面的評価	100

五島雄一郎評議員会副会長逝去



当財団の五島雄一郎評議員会副会長は、5月28日、大腸がんのため東海大学医学部附属病院で逝去されました。

先生は当財団が設立された1970年の5年後の75年、76年に当財団の事業の柱である研究助成の選考委員にあたられ、その後1980年理事に就任、90年から97年まで常務理事、97年からは評議員会副会長を務めておられました。この間、84年から93年までの10年当財団に設置された予防委員会の委員を4年間、そして6年間その委員長を務められました。また医家向けラジオたんぱ放送の「心臓財団循環器セミナー」の企画委員長を91年から94年まで、さらに8月10日の「健康ハートの日」に

向けての川柳公募キャンペーンの選考委員長を96年から2002年まで務められました。

先生は、食事をしながら心臓病予防を学ぼうと低脂肪、低カロリー、減塩の「ヘルシーディナーの会」を始め、「医師と歩こう! チャリティウォーク」に率先して参加され、たばこ健康問題にも力を注がれました。当財団が設立当初に心臓病予防三原則として掲げた「まず歩こう、タバコを吸うまい、太るまい」これはアメリカ心臓協会の指導者で設立者の一人であるP.D.ホワイト博士の言葉「Don't Grow Fat nor Smoke; Walk, Walk and Walk」ですが、これをまさに実践された先生でした。80年の生涯のうち28年間当財団をリードされ、ともに歩んでこられました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

「高血圧・高脂血症と血管代謝」

研究助成対象者決定

当財団ではファイザー株式会社の協力のもと、これまで「高血圧と血管代謝」研究助成を10回行ってまいりました。

第11回より助成範囲を広げ、規模も大きくし、名称を「高血圧・高脂血症と血管代謝」研究助成と改め、引続き同社の協力を得て、心臓血管病の予防という観点に立ち高血圧及び高脂血症の分野において研究を行う40歳未満の少壮研究者に対して助成しました。

本研究助成に57題(基礎分野37題、臨床分野20題)の応募があり、6月4日に開催された第一次選考委員会(選考委員28名)でこの中から基礎分野10題、臨床分野5題の計15題が選ばれました。第二次選考は、7月5日開催の研究発表会で選考された15名の応募者による発表をもとに審査され、最優秀賞5題(各100万円)、優秀賞10題(各40万円)が選考されました。

第11回日本心臓財団・ファイザー「高血圧・高脂血症と血管代謝」研究助成対象者

(五十音順・敬称略・金額単位:万円)

番号	氏名	所属	研究課題	金額
1	石田 達郎 (38歳)	神戸大学大学院医学系研究科 循環呼吸器病態学	内皮由来リパーゼの動脈硬化病変形成過程における役割	100
2	田村 功一 (39歳)	横浜市立大学 医学部第二内科	転写調節因子E2F阻害療法は血管内皮細胞修復機能を妨げず特異的に血管平滑筋細胞の増殖を抑制する—静脈グラフトを用いた検討	100
3	南野 徹 (38歳)	千葉大学大学院 医学研究科循環病態医科学	血管老化のメカニズムの解明—Akt活性化の重要性について	100
4	山原 研一 (32歳)	京都大学大学院 医学研究科臨床病態医科学	ナトリウム利尿ペプチドの血管再生作用とその再生医療への応用	100
5	和田 淳 (39歳)	岡山大学医歯学 総合研究科腎・免疫・内分泌代謝科	内臓脂肪特異的分泌蛋白VASPIN(visceral adipose tissue specific SERPIN)の同定とマルチプルリスクファクター症候群における病態的意義	100
6	井澤 英夫 (38歳)	名古屋大学大学院医学系研究科 器官制御内科学	高血圧症患者における冠動脈疾患発症の遺伝子リスク診断法の開発	40
7	大石 充 (39歳)	大阪大学大学院医学系研究科 加齢医学	高血圧および高血圧性臓器合併症とadiponectinの関連	40
8	窪田 直人 (34歳)	東京大学大学院医学系研究科 糖尿病・代謝内科	PPAR γ 、アディポネクチンの動脈硬化における分子メカニズムの解明	40
9	真田 昌爾 (33歳)	大阪大学大学院医学系研究科 病態情報内科学	慢性NOレベル低下による心・血管リモデリングに対する降圧・冠拡張薬のプレイオトロピック効果の解明と循環器疾患治療への展開	40
10	高橋 昭光 (34歳)	筑波大学臨床医学系 代謝・内分泌内科	高レムナント血症ならびに食後高脂血症モデル動物の作製と解析	40
11	竹田 徹朗 (39歳)	新潟大学大学院医歯学総合研究科 機能分子医学講座	糖尿病による血管内皮障害における接着阻害分子podocalyxinの役割	40
12	長嶋 一昭 (36歳)	京都大学大学院医学研究科 糖尿病・栄養内科	HMG-CoA還元酵素阻害薬による虚血心筋保護作用及び膵 β 細胞インスリン分泌阻害作用に関する検討	40
13	濱田 浩一 (33歳)	秋田大学医学部 生化学第二講座	血管内皮細胞分化形成におけるPTEN/P13K経路の役割 - ノックアウトマウスを用いた解析から	40
14	水野 雄二 (39歳)	熊本加齢医学研究所 熊本機能病院循環器科	本態性高血圧症例における左室からの副腎皮質ホルモン(ACTH)とアルドステロンの産生分泌について - 低レニン性高血圧の病態と関連して	40
15	森本 聡 (36歳)	近江八幡市民病院 内科	レニン-アンジオテンシン系の脳特異的過剰発現マウスは高血圧を呈する	40



日本心臓財団のホームページ統計情報

日本心臓財団のホームページは1999年に開設以来、多くの方から信頼を受けて参りました。最近では「セカンドオピニオン」循環器専門医に聞く」のページには多数のご質問が寄せられています。

そのほか一般向けから医療従事者向けの内容まで各種のページがありますが、次のようなページが閲覧されています。今後もみなさまのお役に立つホームページ作りを目指して参ります。みなさまのご支援をお願いいたします。

心臓財団HPベストテン

1. セカンドオピニオンの検索ページ22%
2. 心臓病自己診断チャート・心疾患診断チャートのページ17%
3. ハートニュースのページ13%
4. 健康ハートのページ10%
5. 健康診断結果の見方とひとくちメモのページ5.5%
6. 循環器データベースのページ5%
7. 季報のページ4.5%
8. 研究・研究助成のページ1.5%
9. 循環器病の治療に関するガイドラインのページ1.5%
10. イベント関連のページ1.5%

「健康ハートの日」川柳入賞作品決まる

テーマ：スポーツまたは運動

応募数 5,534句



当財団では一般の方に心臓病に関する正しい知識を身につけていただくことも事業の一つとし、8月10日が810と読み取れることからこの日を「健康ハートの日」と定め、普及啓発を進めております。

本年度も日本医師会、日本循環器学会の後援のもとにファイザー株式会社の

協力を得て8回目の募集を行いました。これまでのテーマは心臓病が3回、血圧(高血圧)、肥満またはコレステロール、禁煙、健康とお酒(アルコール)がそれぞれ1回、今年はスポーツまたは運動をテーマに募集しましたところ、全国より5,534句の応募がありました。

過去7回選考委員長を務められた五島雄一郎当財団評議員会副会長(東海大学名誉教授)が、去る5月28日逝去されたので、代わって杉本恒明当財団副会長を委員長に、別記選考委員による選考会が7月11日に開催され、最優秀作2句、優秀作5句、佳作25句が選考されました。

なお、8回続きました川柳募集は、今回をもって一旦終了とさせていただきます。本事業実施に際し、多額のご寄付を賜りましたファイザー株式会社、選考にあられた選考委員の方々、そしてご協力下さいました関係各位、それに応募くださいました多くの方々に心からお礼申し上げます。

選考委員長 杉本 恒明 (関東中央病院名誉院長)
選考委員 大西 正夫 (読売新聞調査研究本部主任研究員)
田辺 功 (朝日新聞科学部編集委員)
(五十音順) 尾藤 三柳 (日本川柳ペンクラブ理事長)
敬称略 矢崎 義雄 (国立国際医療センター総長)

「健康ハートの日」川柳入賞作品 (敬称略)

最優秀作(2句)

ゆっくりと歩けば分かる四季の顔 (福岡県 篠原ゆかり)
ウォーキング塵も積もれば若がり (神奈川県 扇 千誉)

優秀作(5句)

老春の真中に居るスニーカー (岡山県 小神 緑)
ケイタイの代わりに買った万歩計 (兵庫県 宮口 隆)
市民マラソン散歩も混じるマイペース (山口県 田中 博美)
ウォーキングみどりと風のフルコース (福井県 山内 昭治)
日記には運動したと書いておく (山梨県 武田 清貴)

「健康ハートの日」川柳入賞作品 佳作(25句・賞金各1万円)

- 心臓をニコニコさせるウォーキング (奈良県 板垣 孝志)
- 運動をしるとベルトが言っている (福島県 遠藤 剛)
- 運動という栄養もちゃんと摂り (佐賀県 原 峻一郎)
- スポーツとハートは長いおつきあい (静岡県 李 英三)
- 顔馴染み笑顔で弾む万歩計 (愛媛県 越智 靖子)
- 魂もラリーしたくてテニスする (香川県 上西 啓仁)
- 気持ちよく走ると人は風になる (神奈川県 山崎 俊定)
- ゆっくりと歩くハートの機嫌良し (北海道 春野 朝子)
- 体操で賞味期限をのばす妻 (山梨県 米沢 幸男)
- 運動を心で描き退院す (和歌山県 川崎 孝二)
- 風呂上がり天衣無縫でストレッチ (大阪府 後藤田次男)
- ジョギングを始め近所の朝を知る (千葉県 佐伯 雄一)
- 音楽に合わせて落とす体脂肪 (富山県 宮本 啓子)
- 心臓に笑みがこぼれる軽い汗 (福岡県 古谷 清)
- 心臓の歩幅に合わせするテニス (鳥取県 三宅 康夫)
- 痩せるためだけに走った頃は過ぎ (東京都 大原 薫)
- 減るヒット増えるエラーで歳を知り (東京都 小川 喜洋)
- マイカーを止めてペダルに春の風 (京都府 福井 忠男)
- 歩こうよ足が丈夫な今だから (愛知県 飯尾 敏男)
- さわやかに刻む鼓動とひかる汗 (鳥取県 有村きぬ代)
- そのうちにジムが開ける器具の山 (鹿児島県 春野洋治郎)
- さわやかに流した汗を風が拭く (東京都 林 喜代三)
- エアロビのリズムにのれず阿波踊り (茨城県 石井 陽子)
- 運動と趣味と笑顔で医者いらす (福岡県 矢野真由美)
- 連れ立って光のシャワー風の色 (東京都 竹中 靖子)

突然死は救える～適切な対処で命を救うために～

第51回日本心臓病学会 市民公開講座

何の前触れもなく訪れる悲劇、突然死。家族やまわりの人々が不測の事態に襲われたとき私たちは、適切で迅速な対処ができるでしょうか。本市民公開講座では、突然死の原因や、発作を起こした人への対処法などについての基本的知識を専門医や識者の意見を伺いながら深めていきます。大切な人を突然死から守るために、ぜひご参加ください。

定員1300名(応募者多数の場合は抽選)。参加者には追って【聴講券】をお送りします。聴講券が開催日の5日前までに送られてこない場合は、ご希望に添えなかったこととご了承ください。

官製はがきに郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号、FAX番号、E-mailアドレスを明記の上、下記あて先へ郵送ください。パネルディスカッションで取り上げて欲しい内容や先生に聞いてみたいこと、日頃疑問に思っていることなどがあればお書き添えください。

●あて先

〒105-0003
東京都港区西新橋1-6-13虎ノ門吉荒ビル8階
日本コンベンションサービス株式会社ITセンター内
第51回日本心臓病学会学術集会 市民公開講座 事務局

●日時

平成15年9月7日(日)
午後1時30分～4時30分(午後1時開場)

●場所

東京国際フォーラム ホールC(千代田区丸の内3-5-1)

■基調講演

1. 突然死はなぜ起こるのか

日本心臓財団副会長、東京大学名誉教授 杉本 恒明

2. 倒れた人を見たら、まず何をすべきか

兵庫県立健康センター所長 河村 剛史

■パネルディスカッション

「市民は救命の主役になれるか」

司会：読売新聞解説委員	南 砂
慶應義塾大学医学部教授	三田村秀雄
前日本航空健康管理室	飛鳥田一朗
東京大学法学部教授	樋口 範雄
厚生労働省医政局医事課長	中島 正治
スポーツキャスター(元バドミントン日本代表)	陣内貴美子

書籍紹介



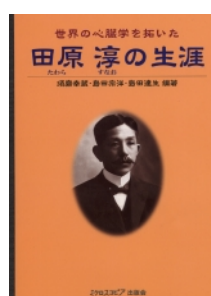
「心臓突然死は救える」

慶應大学教授 三田村秀雄著
三省堂刊 定価1,500円(本体)
2003年7月5日発行

サッカーのフォエ選手が試合中に心停止をきたした。45分間の心肺蘇生術の甲斐なく死亡した。心臓突然死はいつ、どこで、誰に起こるのか？それは防げるのか？突然、隣の人が

倒れたらどうしたらよいのか？救急車を待つだけで良いのか？市民にできることは何なのか？心臓突然死の主因である心室細動の治療は時間との勝負。素人でも使える除細動器さえ身近に用意して、3分以内にそれを使えば4人中3人が助かる。市民に勇気ある協力を呼びかける一方、国民の身体的有事に対する国家としての危機管理のあり方を世に問う書。

『これまで一般向けの医学関係の本は、自分の病気をどう治すか、という観点で書かれ、売られてきましたが、他人のための本など初めてではないでしょうか。でもその他人が実は身内かもしれないし、あるいはそうでなくても誰かにとってかけがえのない人である可能性は十分あります。その人の命を、この本を読んだ人の手で、もし助けることができたら、こんな素晴らしいことはないでしょう。』著者あとがきより



「田原淳の生涯」出版さる

- 心臓刺激伝導系発見百年記念 -
須磨 幸蔵

今年は田原淳博士が渡独してちょうど100年となる。博士を乗せた日本郵船の備後丸が横浜を出航したのは明治36年(1903年)1月であった。田原博士のマルブルクでの心臓刺激伝導系の発見(1906年)は17世紀のウィリアム・ハーヴェイによる血液循環の発見以来の心臓学における大きな出来事であったと思われる。

このたび心臓刺激伝導系発見100年を記念して「世界の心臓学を拓いた - 田原淳の生涯」(編著：須磨幸蔵、島田宗洋、島田達生、発行：ミクロスコピア出版会、B5判変型、定価4,600円(本体)、発売：孝古堂書店、申込FAX：0088-25-5800)が出版された。

内容は博士の生い立ち、ドイツでの研究の様子、師アショフにあてた手紙、家族による思い出、その後の心臓学の発展、日独国際交流などであり、多くの貴重な写真も収録されている。医家のみならず一般の人々にも馴染める本である。

日本を代表する医学者としては北里柴三郎、野口英世などが知られているが、これらの医学者は細菌学の時代に活躍した人であった。心臓学の時代といわれる現今、心臓学発展の道を拓いた田原淳博士について、日本人として知ることが必要であり、大切なことである。

エコ・ウォーカソン2003 インジャパン 開催のご案内

日本では4回目を迎える国際的なチャリティウォーキング。今年は全国3会場で開催。

■札幌大会

平成15年9月14日(日)
集合/受付場所 大通公園
午前8時～10時受付 受付後、随時スタート
参加人数 2,000人(事前申込、先着順)
申込締切 8月上旬、もしくは定員になり次第締切り
振込先 口座番号: 00190-0-425446
加入者名: エコ・ウォーカソン・イン札幌

■京都大会

平成15年9月28日(日)
集合/受付場所 嵐山・中之島公園
午前8時～10時受付 受付後、随時スタート
参加人数 2,000人(事前申込、先着順)
申込締切 9月上旬、もしくは定員になり次第締切り
振込先 口座番号: 00140-2-443928
加入者名: エコ・ウォーカソン・イン京都

■横浜大会

平成15年10月19日(日)
集合/受付場所 パシフィコ横浜国際会議場(国立大ホール)
午前7時30分受付開始
午前9時30分/11時スタート
参加人数 6,000人(事前申込、先着順)
申込締切 10月上旬、もしくは定員になり次第締切り
振込先 口座番号: 00100-1-684163
加入者名: エコ・ウォーカソン・イン横浜

●3会場共通

歩く距離 約10km
参加資格 どなたでも参加できます。
参加費 1,500円(内1,000円がチャリティとなります。)
小学生以下の方は無料で参加できますが、
その場合チャリティへの参加はなく、参加
賞、完歩賞は用意されていません。
参加賞 オリジナルキャップ、ナプブリュック、
参加パスポート
完歩賞 大会オリジナルTシャツ
持ち物 健康保険証(写し)、昼食、飲み物など
申込 郵便局から郵便振替にてお申込みください。
申込み状況を確認される場合は、実行委員
会までお問い合わせください。
寄付 10kmを完歩しますと1kmあたり100円で
換算(10km×100円)した寄付金の実行委
員会から当財団と日本ユニセフ協会に寄
付されます。
お問い合わせ エコ・ウォーカソン実行委員会事務局
E-mail: info@walkathon.jp
TEL: 03-3545-0084
FAX: 03-3545-5155



高血圧を管理して脳卒中を予防する

日本高血圧学会 市民公開講座

ご自身が高血圧の方、ご家族が高血圧の方など、
どなたでも無料でご参加いただけます。

●申込方法

郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号を
ご明記の上、「ファックス」または「はがき」「e-mail」にて
下記までお申し込み下さい。(お申し込みいただいた方
には、受講はがきを郵送致します。)

●申込先

〒810-0001
福岡市中央区天神1-9-17
(株)コングレ九州支社内
「日本高血圧学会 市民公開講座」事務局
ファックス: 092-716-7143 電話: 092-716-7116
e-mail: jsh26@congre.co.jp

- 日時: 平成15年11月1日(土) 午後1時～3時
- 会場: JA・AZM(アズム)ホール本館 大ホール1階
宮崎市霧島 1-1-1
(宮崎交通平和台線「花殿町」下車徒歩1分)
- 電話: 0985-31-2000
- ホームページ: <http://www.congre.co.jp/jsh26/>

座長: 福岡大学名誉教授 荒川規矩男
愛媛大学名誉教授 日和田邦男
講演1 ■ 高血圧をいかに管理するか 慶應義塾大学医学部内科学教授 猿田 享男
講演2 ■ 脳卒中はふえる: 予防こそが最大の治療 九州大学名誉教授 藤島 正敏

「たばこ」対策の「ことば」コンクールについて!!

たばこと健康問題NGO協議会は、平成3年に発足し、「たばこのない社会」の実現を目指し、活動を行ってまいりました。

この間、日本での禁煙に対する、国、地方自治体、企業等の取り組みも大きく変化し、一部自治体では罰則付きの路上禁煙地域を設定するまでになりました。

禁煙運動の広がりに伴って、禁煙運動に関する「ことば」も多く生まれました。「禁煙」以外では「断煙」、「絶煙」、「無煙」などです。このことは、たばこを好まない人がいかに多いか、よく示しています。

しかし、これらすべては「たばこを吸っている人がやめる」といった、たばこを吸う側を意識した「ことば」が多く、もともとたばこを吸わない人々を意識した「ことば」が少ないのが現状です。「ことば」の響きにも否定的に感じるものも少なくありません。(一例には「たばこを吸わない人」を「非喫煙者」と言っているなど)

本協議会としては、今後「たばこを止めさせる」ことではなく、「たばこを吸っていない」、「たばこを吸わせない」ことが常識となる社会環境づくりに、例えば「禁煙席」ではなく「喫煙できる席」という表記に改め、従来たばこを吸わない人が禁煙席を探していたものを、喫煙する人が席を探すというような方向に、より力を注ぐべきと考えております。

そこで今回、「たばこを吸っている人」を主とした「ことば」、「禁煙」、「無煙」など元もちろんですが、上記に述べたような「たばこを吸っていない人々」の側に立った「ことば」も募集いたします。本協議会では、この「ことば」を今後の運動の旗印として活用して行きたいと考えております。

多くの方々より、センスあふれた「ことば」をお待ちしております。

なお、採用の作品には、本協議会ホームページや新規事業などで活用させていただく予定です。

たばこと健康問題NGO協議会(構成)

財団法人がん研究振興財団
財団法人結核予防会
財団法人健康・体力づくり事業財団
財団法人日本公衆衛生協会
財団法人日本食生活協会
財団法人日本心臓財団
財団法人日本対がん協会
財団法人日本母子衛生協会

「たばこ」対策の「ことば」コンクール 募集要項

1. 募集内容

本コンクールの趣旨に沿う形の、一般の方にも親しみやすく、覚えやすい「ことば」をお考え下さい。

今回募集するのは

- 「禁煙」、「無煙」など、喫煙者をなくすために使う「ことば」
- たばこを吸わない人の立場からのたばこに対する「ことば」です。

なお、「ことば」とは、
単語

「ことば」と「ことば」を組み合わせで熟語化したもの。

漢字等を組み合わせで、新たな「字」を作成したもの。

またその組み合わせ

キャッチコピー的なもの

等、従来のものにこだわらず、ご自由な発想でお考え下さい。
字数等の制限はございませんが、なるべく簡潔なものでお願い致します。

2. 応募資格

どなたでも応募できます。

(個人だけでなく、職場単位の応募も構いません)

3. 応募締切

平成15年12月31日

4. 選考について

応募作品の中から選考を行い、最優秀賞(1名)、優秀賞(4名)の5件を選考します。

選考された作品の著作権および今後発生するすべての権利は主催者に帰属します。

5. 賞と記念品

最優秀賞：図書券 50,000円

優秀賞：図書券 5,000円

6. 発表

本協議会ホームページ上

本協議会加盟団体の機関誌等

平成16年度世界禁煙デー記念シンポジウム内で表彰。(予定)

7. 応募方法

下記の必要事項をご記入の上、はがき、FAX、E-mailなどで応募下さい。

【必要事項】

氏名・性別・年齢

職業

勤務先(所属先・学校名)

勤務先住所(未就業の場合は自宅住所)

電話番号

8. 応募先

財団法人結核予防会 事業部普及課内

たばこと健康問題NGO協議会事務局

「たばこ対策のことばコンクール」係

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-3-12

TEL: 03-3292-9288 FAX: 03-3292-9208

E-mail: fukyu@jatahq.org

新役員・評議員決まる

平成15年3月開催の評議員会にて理事、監事の選任と、理事会にて評議員、顧問の選任が行われました。5月26日の理事会で新理事の互選により会長、副会長、

理事長、常任理事を、また評議員会で新評議員の互選により評議員会会長がそれぞれ選出されました。

理 事

会 長	平岩 外四	東京電力株式会社顧問
副会長兼常任理事	杉本 恒明	公立学校共済組合関東中央病院名誉院長
理事長	志立 託爾	三菱信託銀行株式会社最高顧問
常任理事	川島 康生	国立循環器病センター名誉総長
常任理事	河野 俊二	東京海上火災保険株式会社相談役
常任理事	篠山 重威	労働福祉事業団浜松労災病院院長
常任理事	椎名 武雄	日本アイ・ピー・エム株式会社最高顧問
常任理事	竹下 彰	株式会社麻生飯塚病院顧問
常任理事	外山 淳治	医療法人澄心会豊橋ハートセンター総長
常任理事	矢崎 義雄	国立国際医療センター総長
常任理事	和田 龍幸	社団法人日本経済団体連合会事務総長
	系氏 英吉	社団法人日本医師会副会長
	栄木 憲和	バイエル薬品株式会社社長
	大賀 典雄	ソニー株式会社名誉会長
	小川 聡	慶應義塾大学医学部内科学教授
	櫻井 孝頼	第一生命保険相互会社会長
	高藤 鉄雄	三共株式会社社会長
	山口 武典	国立循環器病センター名誉総長
	山口 徹	国家公務員共済組合連合会虎の門病院院長

監 事

末松 謙一	株式会社三井住友銀行名誉顧問
細田 瑳一	日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院院長

評 議 員

評議員会会長	佐波 正一	株式会社東芝相談役
【経済界等】	伊藤 助成	日本生命保険相互会社会長
	伊部 幸顕	ゼリア新薬工業株式会社社長
	荻野 和郎	日本光電工業株式会社社長
	小林 建俊	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社副社長
	塩野 元三	塩野義製薬株式会社社長
	鈴木 正	第一製薬株式会社社会長
	竹中 登一	山之内製薬株式会社社長
	田中登志於	田辺製薬株式会社相談役
	土井 貞臣	トーアエイヨー株式会社社長

顧 問

尾前 照雄	国立循環器病センター名誉総長
河合 忠一	京都大学名誉教授
坪井 栄孝	社団法人日本医師会会長
山田 和生	名古屋大学名誉教授

内藤 晴夫	エーザイ株式会社社長
永山 治	中外製薬株式会社社長
波多健治郎	明治生命保険相互会社会長
アランB.ブーツ	ファイザー株式会社社長
福田孝太郎	フクダ電子株式会社社長
藤山 朗	藤沢薬品工業株式会社社会長
森田 桂	武田薬品工業株式会社相談役
吉野 泰生	住友生命保険相互会社会長
有田 眞	湯布院厚生年金病院院長
上島 弘嗣	滋賀医科大学福祉保健医学教授
上田 一雄	財団法人医療情報健康財団理事長
上松瀬勝男	日本大学医学部第二内科教授
北 徹	京都大学大学院医学研究科循環病態学教授
北畠 顕	北海道大学大学院医学研究科循環病態内科学教授
児玉 逸雄	名古屋大学環境医学研究所教授
小柳 仁	聖路加国際病院ハートセンター所長
澤井 廣量	社団法人日本循環器管理研究協議会事務局長
白土 邦男	東北大学大学院医学系研究科循環器病態学教授
杉下 靖郎	日本郵政公社・東京簡易保険総合健診センター前所長
田中 弘允	鹿児島大学名誉教授
豊嶋 英明	名古屋大学大学院医学研究科公衆衛生学教授
仲村 英一	財団法人結核予防会理事長
早川 弘一	社会福祉法人康和会久我山病院院長
平岡 昌和	東京医科歯科大学難治疾患研究所循環器病部門教授
堀 正二	大阪大学大学院医学系研究科病態情報内科学教授
村山 正博	横浜市スポーツ医科学センター長
門間 和夫	東京女子医科大学名誉教授
山口 巖	筑波大学臨床医学系内科学教授
横山 光宏	神戸大学大学院医学系研究科循環呼吸器病態学教授

ご支援ありがとうございます

本年度もご支援をいただいた方のご芳名を掲載します。

(敬称略: 2003年5月1日～7月29日)

相澤 忠範	大国 真彦	河合 忠一	島本 和明	戸嶋 裕徳	福岡 恒	八木田佳樹
相澤 義房	大地 陸男	川崎 富作	嶋本 喬	富田 稔	福田 恵一	八木 洋
青柳 成明	大村外志隆	川田 治義	下村 克朗	友池 仁暢	福田 圭介	矢崎 健二
秋山 房雄	大柳 光正	川名 正敏	白土 邦男	外山 淳治	福田 孝太郎	安井 昭二
東 秋弘	大和田憲司	河村 慧四郎	杉澤 和美	豊嶋 英明	藤山 朗	安井 弘文
阿部 主志	岡崎 修	上松瀬勝男	杉本 恒明	永井 良三	藤原 久義	泰江 壽一
新 博次	岡島 光治	菊池健次郎	鈴木源次郎	永野 允	細田 達一	安田 尚士
有田 眞	岡田幾太郎	岸田 浩	鈴木 常雄	仲村 英一	細野 清士	矢永 義男
飯村 攻	岡田 了三	北畠 顕	鈴木 典夫	中村 元臣	本莊 晴朗	柳瀬 徹
池田 孝之	岡本 登	木之下正彦	須磨 幸蔵	野出 孝一	真島 三郎	山口 純一
石井 當男	小川 聡	木村 和雄	千田 彰一	橋場 邦武	松浦 秀夫	山崎 章
和泉 徹	小川 勝	木村玄次郎	高尾 篤良	早川 弘一	松浦雄一郎	山科 和生
市原佐悦	荻野 和郎	久家 英子	高田 重男	林 輝美	松岡 博昭	山田 登
市原佐子	荻野 俊男	久保田 徹	高野 照夫	林 秀晴	松尾 裕英	山本 章
一色 高明	奥村 謙	栗田 明	高本 眞一	早野 元信	松澤 佑次	家森 幸男
伊藤 七郎	小澤 高将	桑島 巖	高本 修一	原岡 昭一	松永 正人	横山 光宏
伊藤 隆之	小澤 利男	桑原 コウ	瀧下 敦郎	半田俊之介	三田村秀雄	吉川 純一
井上 博	小野寺庚午	児玉 俊一	武内 信彬	比江嶋一昌	三迺 信一	吉崎 鴻造
岩 喬	尾前 照雄	後藤 正枝	武田 興一	東 あかね	宮下 英夫	渡辺 務
上田 一雄	梶原 長雄	後藤 又三	谷口 長良	菱田 仁	村田 和彦	渡部 良夫
上畑鉄之丞	片見 初江	篠山 重威	玉木 宏	平岡 昌和	村山 正博	
梅村 敏	加藤 逸夫	佐藤 和子	塚本 宏	平川 能武	望月 茂	
江藤 胤尚	加藤 正明	佐藤 友英	坪井 栄孝	平盛 勝彦	望月 正武	
遠藤 勝男	金丸 憲司	佐波 正一	土井 貞臣	廣澤弘七郎	守田 哲朗	
遠藤 政夫	金子 好宏	志立 託爾	土居 義典	日和田邦男	門間 和夫	
大川真一郎	加納 達二	柴田仁太郎	道場 信孝	福慶 逸郎	八木 繁	

当財団へのご寄付

次の方からご寄付を頂戴しました。ここにご芳名を記して感謝の意を表します。(2003年5月～2003年7月)

小貫 芳二 様	茨城県那珂郡	50,000円
春見 一則 様	東京都新宿区	1,000,000円
(ご尊父春見建一様一周忌に際し)		
後藤 忠士 様	東京都板橋区	100,000円
村上 勝彦 様	東京都北区	10,000円
長谷川 章 様	兵庫県神戸市	100,000円
安島 巖 様	茨城県北茨城市	30,000円
中島 真信 様	茨城県水戸市	50,000円
道川 進 様	茨城県水戸市	20,000円
株式会社東横イン 様	東京都大田区	100,000円
大内 貞夫 様	茨城県水戸市	10,000円
弓野 茂次 様	茨城県東茨城郡	50,000円
匿名 様		900,000円
匿名 様		300,000円
匿名 様		30,000円
田所 道子 様	茨城県那珂郡	10,000円
石崎 つる 様	茨城県東茨城郡	10,000円
他 2 名		3,000円

● 心臓財団からのお願い ● ～ ご寄付ならびに賛助会ご加入 ～

当財団が循環器疾患の予防・制圧事業を展開するうえで、その多くは寄付金ならびに賛助会費により支えられております。あなたのまわりの方にもぜひ呼びかけてください。

ご寄付はいくらでも受けさせていただいております。当財団は「特定公益増進法人」として認可を受けておりますので、税制上の優遇措置が講じられております。

賛助会は日本心臓財団の目的に賛同し、その働きを支援する方々、法人によって構成されています。賛助会費は、個人の場合、年額1万円、法人の場合は5万円で何口でも差し支えありません。

ご支援いただける場合は、下記の口座をご利用ください。

郵便振替口座 00140-3-173597
宛て先 財団法人日本心臓財団



● お近くにお越しの際は、お立ち寄り下さい。 ●

当財団は地球環境保護を重要と考え、この季報には再生紙を使用しております。